

# 救護対象外の有害鳥獣・狩猟鳥獣一覧



マガモ  
カモ目カモ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約60cmで、胴体はカラスよりやや大きい。カモ類では、カルガモと並んで大型。雌雄異色。オスの方がメスよりやや大きい。オスは、緑色の頭部、白い首輪、鮮やか黄色いくちばしが目立つ。また、カルガモと同様に、飛翔時に翼の下面の白いのが目立つ。メスは他のカモ類のメスと同様に、全体が褐色の地味な色調。



カルガモ  
カモ目カモ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約60cmで、胴体はカラスよりやや大きい。カモ類ではマガモと並んで大型。狩猟鳥のカモ類の中では、カルガモのみが雌雄同色。オスの方がメスよりやや大きい。全体が褐色で地味な色調だが、首が長めであること、黒っぽい過眼線(眼を前後に横切る線条)があること、くちばしは黒いが先端だけは黄色いこと、体の前方から後方にかけて徐々に黒みが増すこと、三列風切の縁が広くて白いことなどが目立つ。また、マガモと同様に、飛翔時に翼の下面の白いのが目立つ。



ヨシガモ  
カモ目カモ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約50cmで、胴体はカラスよりやや小さい中型のカモ。雌雄異色・オス大。オスは、灰色の体部、光沢のある栗褐色の頭部、長い冠羽、白いのど、長くみの状に垂れ下がった三列風切などが目立つ。メスは、他のカモ類のメスと同様に、全体が褐色の地味な色調だが、やや茶色みがかった褐色で、頭部が灰色がかっている。



コガモ  
カモ目カモ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約40cmで、胴体はハトよりやや大きい。日本産カモ類では最小。翼が長いので、飛翔中はハトよりかなり大きく見える。雌雄異色・同大。オスは、白色の水平線を有する灰色の体と栗色の頭部、目の周囲から首の後ろにかけての緑色、尾部のクリーム色などが目立つ。メスは他のカモ類のメスと同様に、全体が褐色の地味な色調。



オナガガモ  
カモ目カモ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長はオスが約75cm、メスが50cmで、胴体はカラスよりやや小さい中型のカモ。メスはオスよりも一回り小さい。雌雄異色。名前のお通り、尾羽が長いこと(オスは特に尾羽が長い)、細長い黒褐色の頭部、前面の白い首、灰色の体部などが目立つ。メスは他のカモ類のメスと同様に、全体が褐色の地味な色調だが、やや灰色がかった褐色で、尾羽がやや長い。



ヒドリガモ  
カモ目カモ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約50cmで、胴体はカラスよりやや小さい中型のカモ。雌雄異色・オス大。オスは、赤褐色の頭部と額から頭頂にかけてのクリーム色、灰色の体部とのコントラストが目立つ。メスは他のカモ類のメスと同様に、全体が褐色の地味な色調だが、やや赤みがかった褐色。



ハシビロガモ  
カモ目カモ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約 50cm で、胴体はカラスぐらゐの大きさのやや大型のカモ。オスの方がメスよりも大きい。雌雄異色。オスは、光沢のある黒い頭部、黒色の背而、栗色の脇腹とそれを取巻く白色部のコントラストが目立つ。メスは他のカモ類のメスと同様に、全体が褐色の地味な色調。雌雄ともにシヨベル状の扇平で大きなくちばしを持つ(カモ類の中ではもっとも巾が広い)。



タシギ  
チドリ目シギ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約 30cm で、胴体はハトよりやや小さい。雌雄同色・同大。くちばしが非常に長く、全体が褐色で、淡褐色や黒褐色の細かい模様で覆われている。全体的に淡褐色の横斑があるが、くちばしの付け根から側頭部、眼の後方、ほおにかけては、黒褐色の綿状の横斑が入る。



カワウ  
ペリカン目ウ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

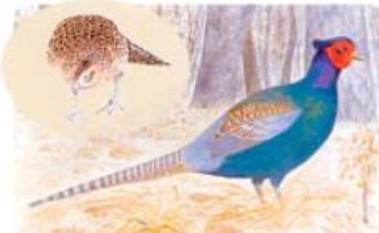
【特徴】全長およそ 80cm でカラスよりずっと大きい。雌雄同色同大で、全体黒色ないし黒褐色。カモ類に似た体型だが、嘴が細長く先端が鉤状で、尾羽が長い。成鳥では目の後方から下方にかけての頬に、羽毛のない白っぽい裸出部がある。また、下嘴基部には黄色の裸出部があって後方に丸くわずかに突出する。繁殖期の成鳥は、背面が褐色に変化し、胸部や腹部の黒色コントラストを成す。



エゾライチョウ  
キジ目キジ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約 40cm で、胴体はカラスよりやや小さい。雌雄同色・同大で、ライチョウと異なり羽色の季節変化はない。全体が褐色で、細かい黒褐色や赤褐色の斑紋が点在する。オスののどは黒色でその周囲を白色帯が取り巻いている。頭頂には短い冠羽があり、緊張すると立ち上がって目立つようになる。



キジ(亜種のコウライキジを含む)  
キジ目キジ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

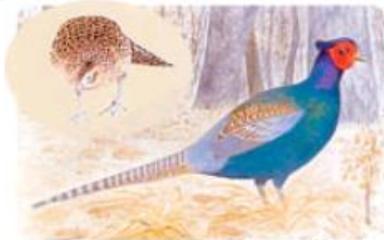
【特徴】全長はオスが約 80cm、メスが約 60cm で、胴体はカラスぐらゐの大きさ。長い尾を持つ。雌雄異色・オスやや大。オスは全体的に緑色で、長い尾と、顔に赤く大きな裸出部があることが特徴で、首から腹部にかけての光沢の強い暗緑色と、背部の明るい青灰色とのコントラストが目立つ。メスは、全体的に茶褐色で、細かい黒色小斑が点在している。



コジュケイ  
キジ目キジ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約 30cm で、胴体はハトぐらゐの大きさ。尾は短い。雌雄同色・同大。体は褐色で、ほおが赤くてその上下が青灰色であること、黄褐色の腹部に丸みのある黒色横斑があることが特徴。体型も丸みを帯びている。



キジ(亜種のコウライキジを含む)  
キジ目キジ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長はオスが約80cm、メスが約60cmで、胴体はカラスぐらいの大きさ。長い尾を持つ。雌雄異色・オスやや大。オスは全体的に緑色で、長い尾と、顔に赤く大きな裸出部があることが特徴で、首から腹部にかけての光沢の強い暗緑色と、背部の明るい青灰色とのコントラストが目立つ。メスは、全体的に茶褐色で、細かい黒色小斑が点在している。



キジバト  
ハト目ハト科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約33cmで、胴体はハトぐらいの大きさ。雌雄同色・同大。全体が明るい茶褐色で、首の側面に黒色と淡褐色～灰青色の横縞がある。翼は黒褐色だが、縁は赤褐色。



スズメ  
スズメ目ハタオリドリ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約14cm。雌雄同色・同大。上面は茶褐色で頭部がより濃色、腹面はくすんだ白色で、ほおに特徴的な黒斑がある。



ヒヨドリ  
スズメ目ヒヨドリ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

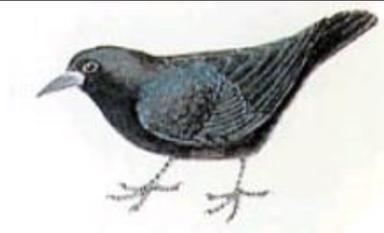
【特徴】全長は約28cm・雌雄同色・同大。比較的尾が長い。全体が灰色で、南方のものほど下腹部を中心に褐色味が強くなる。ほおは茶褐色で、腹と脇腹の羽の縁は白色。くちばしは黒い。



ムクドリ  
スズメ目ムクドリ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

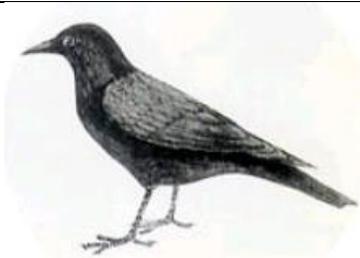
【特徴】全長は約25cm・雌雄同色・同大。全体が暗褐色で、オスは頭部が黒褐色。ほおと腰が白色であること、くちばしと脚が明るいオレンジ色であることが特徴。ほおの白色部は個体によって大きさが異なり、ほとんどない個体もいる。



ミヤマガラス  
スズメ目カラス科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約50cm弱・雌雄同色・同大。全体がやや光沢のある黒色。成鳥はくちばしの付け根の周囲に羽毛がなく、裸出部は灰白色だが、若鳥ではその部分が羽毛に覆われていて黒色。くちばしはハシボソガラスよりもさらに細く、額が角張って見える場合が多い。



ハシボソガラス  
スズメ目カラス科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

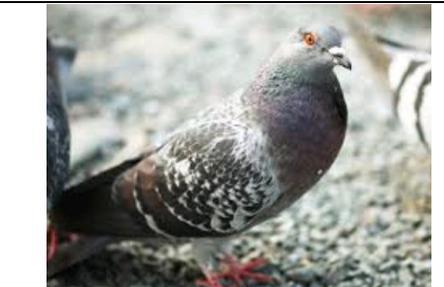
【特徴】全長は約50cm・雌雄同色・同大。ミヤマガラスよりはわずかに大きい。くちばしや脚も含めて全身が黒色で、上面には紫がかった光沢がある。



ハシブトガラス  
スズメ目カラス科

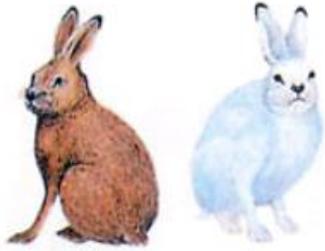
イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】全長は約57cm・雌雄同色・同大。くちばしや脚も含めて全身黒色で、上面には紫がかった光沢がある。くちばしが強大で、著しく太いことが特徴。ただし、伊豆諸島や沖縄諸島などのハシブトガラスは、本土産のものに比べて、くちばしがさほど太くないので注意を要する。



ドバト

個体により違いがある。主要なものとして、翼に二本の黒い線がある個体、全体が黒色、白色、赤褐色の個体、または、これらがモザイクになったものがある。



ノウサギ・ユキウサギ  
ウサギ目ウサギ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 50cm で、尾は短く目立たない。雌雄同色・同大。全身暗褐色で、眼は黒い。耳が長く、後足が強大。ノウサギのうち本州の東北地方や日本海側の積雪地帯、佐渡に分布するものとユキウサギは、冬季、耳の先端を除いて体毛が純白に変化する。



タイワンリス(クリハラリス)  
ネズミ目リス科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長約 20cm で、尾も同程度の長さ。雌雄同色・同大。全身が灰褐色。腹部はやや淡色だが、ニホンリスやシマリスのように白く見えることはない。耳の毛は短く、小さく丸い耳が裸出して見える。尾が太い。



シマリス  
ネズミ目リス科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長、尾長とも約 10cm。雌雄同色・同大。狩猟獣の中で一番小さい。全身が淡褐色で、背部にある汚白色と暗褐色の縦縞が特徴的。眼の周りも白っぽく、その下部には暗色の縁取りがある。



ヌートリア  
ネズミ目ヌートリア科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 50cm で、尾長は約 40cm。雌雄同色。オスの方がやや大きい。ずんぐりした体型で、体色は暗褐色、頭部は大きく、長い口髭が目立つ。



ヒグマ  
ネコ目クマ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

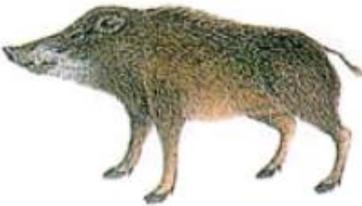
【特徴】頭胴長は約 200cm。雌雄同色・ややオスの方が大型。体重は 200kg 以上に達するものがある。日本産最大の大型陸生哺乳類である。全身が褐色ないし黒褐色で、頭部が著しく大きく、耳が丸いことが特徴。尾は極めて短く目立たない。



ツキノワグマ  
ネコ目クマ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 100~150cm。体重は 100kg を超えるものもある。雌雄同色。ややオスの方が大型。全身が黒褐色で、ほとんどの個体には、胸にその名の由来となっている白っぽい月の輪模様がある。



イノシシ  
ウシ目イノシシ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 100~150cm で、尾は長め。雌雄同色・オス大。体重は 70~110kg だが、200kg に達するものもある。頭部が大きく、ずんぐりした体型。鼻先が突き出していて先端が円盤状。オスはキバ(犬歯)が発達していて、オス同士の争いや外敵との闘争などに用いる。



ニホンジカ  
ウシ目シカ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】雌雄、亜種によって大きさがかなり異なる。おおむねオスでは頭胴長が約 100~200cm、メスでは約 100~150cm。北海道に生息するニホンジカ(エゾシカ)の方が、本州以南に生息するニホンジカ(ホンシュウジカ)より大型。雌雄同色。体色は季節的にやや異なり、夏毛では黄褐色に白っぽい小白斑を散布し、冬毛では暗褐色の地色で無斑。どちらも尻が白色で、警戒時に拡大する。オスには枝角があり、成熟すると 3~4 本に分枝する。この枝角は毎年生え変わる。



アライグマ  
ネコ目アライグマ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 50cm、尾長は約 30cm・雌雄同色・同大。体毛は灰褐色で、眼の周りにははっきりした黒色のマスク模様があること、尾に黒色の輪があることが特徴。体毛が長く、ずんぐりした体型をしている。手先が器用なため、各地で脱柵して野化する個体が多い。



タヌキ  
ネコ目イヌ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 60cm、尾長は約 15cm・雌雄同色・オスやや大。全身が淡褐色で、眼の周囲と四肢、尾の先端がほぼ黒色であり、首の側面や尾などはやや淡色。体毛が長く、ずんぐりした体型をしている。



キツネ  
ネコ目イヌ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 60~70cm、尾長は約 40cm・雌雄同色・オスやや大。全身は淡赤褐色で、のどから下腹部にかけての下面、四肢の内側と尾の先端はほぼ白色で、耳と四肢の先端は黒色。また、北海道東部では、近年灰黒色の「銀狐」タイプの個体も稀に見られるという。



テン  
ネコ目イタチ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 45cmで、尾長は約 20cm。雌雄同色・オス大。夏毛と冬毛で体色が異なり、夏毛はやや黒ずんだ黄褐色の体毛で顔が黒く、冬毛は体毛が明るい黄褐色ないし黄色で顔が白い。



イタチ (オス)  
シベリアイタチ  
ネコ目イタチ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】イタチは、雌雄で大きさが明確に異なり、オスは頭胴長が約 30~40cm、尾長が約 10~20cmで、メスのおよそ 1.5~2 倍ほどの全長を有する。雌雄同色。全身が茶褐色で、腹面は淡褐色。口元は白色であるがその上部から眼の周りにかけては黒色で、明瞭なコントラストをつくる。シベリアイタチはイタチよりやや大きく淡色。

※イタチはオスのみ救護対象外。  
シベリアイタチは  
オス・メス共に救護対象外。



ミンク  
ネコ目イタチ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 40cmで、尾長は約 30cm・雌雄同大。体色は褐色のものが多く、淡褐色や灰褐色、黒褐色などの変異がある。



アナグマ  
ネコ目イタチ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 50cmで、尾は短く約 10cm。雌雄同色・オスやや大。体色はくすんだ淡褐色で頭部淡く、眼の周囲から頭頂にかけて黒褐色。ずんぐりした体型で、四肢が短く暗色。耳が丸く小さい。



ハクビシン  
ネコ目ジャコウネコ科

イラスト…(一社) 大日本猟友会提供

【特徴】頭胴長は約 60cmで、尾長は約 40cm。雌雄同色・同大。体色は暗灰褐色だが、顔面が黒色で、鼻部から頭頂部にかけて細い白色の縦線があることが特徴。また、四肢の下部と尾の後半も黒色。四肢は比較的短く、細長い体型で、ややイタチ科獣類に似ている。

## ノイヌ

ネコ目イヌ科

【特徴】ノイヌとは、人間の助けを借りずに自然界で自活し、かつ繁殖しているものを言い、一時的に人間から離れて生活している個体は非狩猟獣のノライヌとしている。

## ノネコ

ネコ目ネコ科

【特徴】ノネコとは、人間の助けを借りずに自然界で自活し、かつ繁殖しているものを言い、一時的に人間から離れて生活している個体は非狩猟獣のノラネコとしている。

